

入賞者決まる

第4回

# 高梁市文学選奨

第4回高梁市文学選奨の入賞者が決まりました。6部門56点の中から、入選5点と佳作10点が選ばれました。入賞作品は、本年度中に小冊子「高梁の文学」として発刊し、童謡作詞部門の入選作品は、曲を付けて来年度の童謡まつりで発表する予定です。

◆各部門の入選と作品名

(敬称略)

▽詩：前田実紅(岡山市・市内通学者) Ⅱ「親」▽短歌：前原敏(本町) Ⅱ「ひと山越ゆる」▽俳句：柳井明好(成羽町成羽) Ⅱ「新涼の風」▽川柳：河原智恵

◆各部門の佳作

(敬称略)

(有漢町有漢) Ⅱ「嬸ぢいの独り言」▽童謡作詞：田辺幹恵(東町) Ⅱ「手をつなごう」

▽小説・随筆等：大平隆祥(高倉町田井)▽詩：角瀬君子(中井町西方)▽短歌：(一席)赤木加多代(成羽町長地)、(二席)河原智恵(有漢町有漢)、(三席)前原美智恵(本町)▽俳句：(一席)塩田弘子(栄町)、(二席)三村節子(伊賀町)▽川柳：(一席)角瀬君子(中井町西方)、(二席)湯浅みわ(有漢町上有漢)▽童謡作詞：西村毅(中井町西方)

■問い合わせ 社会教育課文化係 (TEL) 9083

入選の皆さん

※小説・随筆等部門の入選は該当者なし

《 詩 》



前田実紅さん(19)

《 短歌 》



前原 敏さん(72)

《 川柳 》



河原智恵さん(93)

《 俳句 》



柳井明好さん(75)

《 童謡作詞 》



田辺幹恵さん(43)

留学生と交流を深めませんか

## 第2回 異文化交流フェスタ2008

### 参加者募集

市国際交流協議会は、市民の皆さんと高梁学園に在学する留学生(中国・韓国・台湾・カンボジア)との交流を深めるため、ふるさと歴史探訪を行います。

ぜひご参加ください。

日 時：12月6日(土)

午前8時30分～午後5時30分(終了予定)

集合場所：市役所本庁前

内 容：ふるさと歴史探訪

(備中松山城、頼久寺、吹屋ふるさと村ほか)

※昼食は準備します。

参加費：500円

※会員と中学生以下は無料。

申し込み：12月1日(月)までに同協議会事務局へご連絡ください。

※市ホームページからも申し込みできますので、ご利用ください。

定 員：20人(先着順)

■問い合わせ・申し込み

同協議会事務局 (企画課内TEL) 0208



## 市長表彰

11月8日に開催された「健康福祉のつどい」で、民生委員児童委員を12年以上務められた、次の2人に市長表彰が授与されました。

福瀧登喜恵さん(55)(巨瀬町) 川上 年枝さん(58)(川上町七地)

# おめでとうございます

## 人間国宝に認定

— 箏曲 二代 米川文子さん —



二代 米川 文子さん

さらなる伝統芸能の振興を  
初代の魂を継ぐ

9月に箏曲で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された、二代 米川文子さん(82)は本名・操(東京都大田区)。後に養母となる叔母の故初代

米川文子さん(人間国宝、本市・名誉市民)に、13歳で入門されました。以来、芸の道に励まれるとともに、古典芸能振興に努められ、平成6年紫綬褒章受章、平成11年に二代 米川文子を襲名され、翌12年には勲四等宝冠章を受章。この年、本市で「二代 米川文子襲名記念演奏会」が開かれました。平成15年からは日本三曲協会会長を務められ、人間国宝の認定を機にさらなる精進を誓われています。

## 秋の褒章

— 藍綬褒章に加計美也子さん —



高梁学園理事長・総長 加計 美也子さん

私学教育に尽力  
高梁だからできる教育を

市内で吉備国際大学、順正短期大学、順正高等看護専門学校を運営する高梁学園理事長・総長の加計美也子さん(59)。時代に即応した新しい学問分野と教育内容の整備に取り組み

れ、平成2年公私協力方式で開学した吉備国際大学を単科大学から総合大学へと発展させるなど、私学振興に多大な功績を挙げておられます。父である故加計勉氏(本市・名誉市民)の「学生一人ひとりの持つ能力を最大限に引き出し、引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」の建学の理念を引き継がれながら、地域性のある教育で、高梁だからできる、ここに来ないと学べない「オンラインワン」の教育を目指しておられます。

## 新しく市消防団長に 丹治さん



市消防団長 丹治 勇さん

10月14日付で市消防団長に、新しく丹治勇さん(61)(川上町七地)が就任されました。

## 新しく消防ポンプ自動車を導入

市消防署は、新たに「災害対応特殊化学消防ポンプ自動車(II型)」を導入しました。化学消防ポンプ自動車は、水では消火が難しい油の火災、特に工場などの危険な火災現場で活躍する車両です。

これは、昭和63年導入の化学

丹治団長は昭和49年に旧川上町消防団に入団され、平成10年1月から合併前の平成16年9月までは団長、また合併後は市消防団副団長を務められ、昨年は藍綬褒章を受章されました。火災予防の啓発と地域ぐるみの防災体制確立に意欲を燃やしておられます。

車が老朽化したことによるものです。この化学消防ポンプ自動車(II型)は、総排気量6403ccの四輪駆動車。1500リットルの水と500リットルの薬剤が搭載できます。

また、最新技術の装備で、圧縮空気泡消火システムは少量の水で消火泡を作り消火し、従来の3倍から20倍の発泡能力があります。

化学火災だけでなく、建物火災でも安全で効率的な消火活動が期待されます。

■問い合わせ 消防本部警防課 (TEL) 0214

